

環境共生学セミナーⅠ

2 単位 (必修) 3 年 (前期)

小山保夫・教授 / 社会創生学科

【授業目的】 どのような卒業研究を進めるか、それを知るためには、どのような研究が行われているか、知ることが必須である。もし、すでに研究が行われていることを研究しても、それが論文として認められることは少ない。よって、卒業研究に取りかかる最初のステップとして、最近の論文を読んでみましょう。また、英語の力を付けて、レベルの高い大学院の入学試験に確実に合格できるようにします。

【授業概要】 化学物質の作用影響評価論文の読解力を養成します。

【履修上の注意】 英語は苦勞しないと上手にならないから、気持ちが悪くなるくらい読むことです。とにかく、「修行」と思って頑張ることです。三時間くらいは連続して、英語を読み続ける忍耐力が必要です。

【到達目標】 少なくとも何をしたら研究らしいものになるのか、論文が纏められるか、自分で考えることができる。

【授業計画】

1. 論文を探そう。どうしたら、必要な論文を見つけることができるか。
2. 論文の構成はどのようになっているのか。
3. どのように英語の論文を読んでいくのか。科学英語 (自然科学) には特徴があります。
4. 題目 (Title)、著者名 (Authors)、研究が実施された場所 (Address) の持っている意味を教えます。次に、抄録 (Abstract) の内容の最低条件について解説します。
5. 緒言 (Introduction) から、この論文にどのような流れがあるのか、読み方を話します。緒言が立派でも研究内容はお粗末な論文もあります。
6. 実験方法 (Methods and Materials) です。ここは結果 (Results) を読んでいく中で繰り返し見る可能性があります。どのような条件で実験が行われたのか、重要です。
7. 結果 (Results) を読む時のポイントを解説します。なぜ、そのような実験を行って、何を明らかにしているのか。ここが重要です。結果から導き出されていることが、緒言で書かれていること沿っているか。全く関係がないことをしている可能性もあります。実験の構成をチェックしてみましょう。
8. 結果に沿った考察 (Discussion) が行われているか、考えてみましょう。そして、示唆、推論あるいは結論はまともなのか、引用文献 (References) の内容まで含めて、話し合みましょう。
9. 論文に何が不足しているか、批評しましょう。自分ならどうするか? ここ

を考えてみましょう。

10. 論文を審査することを査読 (Review) と言います。論文の査読の仕方、ポイントを覚えましょう。ここまでの講義を振り返り、論文をどのように評価するのか、確認しましょう。
11. 論文を査読者の読んでみましょう (Toxicology).
12. 論文を査読者の読んでみましょう (Toxicology In Vitro).
13. 論文を査読者の読んでみましょう (Toxicology Letters).
14. 雑誌の評価、論文の評価について、教えます。
15. 総括

【成績評価】 少なくとも何をしたら研究らしいものになるのか、論文が纏められるか、自分で考えることができる。それを口頭で説明できること。

【再試験】 なし。

【教科書】 なし。

【参考書】 エルセビア系毒性科学誌 (Toxicology, Toxicology Letters, Toxicology In Vitro)

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220285>

【連絡先】

⇒ 何かあれば、メール(oyama@ias.tokushima-u.ac.jp)に問い合わせる。